



第97号  
2023年10月1日発行

# きずな

発行元：四国中央市人権教育協議会 〒799-0497 四国中央市三島宮川4-6-55  
電話：0896-28-6028 E-mail：jinkyo@city.shikokuchuo.ehime.jp

21世紀を  
人権の世紀に  
しよう!

## 人権作文

### 「自分らしく生きるということ」

川之江高等学校 二年 片山 京香  
(現在三年)

高校生になって初めての懇談会で、私は先生から一冊の本をもらった。『子どもが育つ魔法の言葉』という本だ。母は保育士の仕事をしているので、この本の存在を知っていたのだが、私は初めてだった。家でペラペラめくってみると「子は親の鏡」と書いてある。私は母とよく似ていると言われるけれど、心はどうだろう。その中に「認めてあげれば、子どもは自分が好きになる」と書いてあった。たしか、私が小学五年生のとき、これも懇談会で先生に、「京香さんはアンケートで、自分が好きかという欄に、好きと答えてくれてうれしかった」と言われたことがあった。帰って母から、「お母さんも京香が自分のことが好きと書いてくれたことが、うれしかった」と言われた。

「なんでそんなに自分を好きって言ったら、ほめられるの？」と聞き返すと、「自分のことが好きでいられる人は、きっと友達や周りの人のことも好きになれるし、その人のことを認めることができると思うから」と、母は言った。確かに母は私が小さい頃から、「京香の良いところは、友達の良いところやな」と言っていた。今、悪口を言わないことは私の長所なのかな、と思えたことは、母のおかげかもしれない。一人ひとり考え方や価値観も違うので、けんかをしたりイラッとしたりすることもあってもいい。でも「この人は自分の持っていることを認めることも受け入れることもできる」と思う。

したり支えたりしてくれた友達や周りの人たちのおかげで」と言い、涙を流していた。お互いを認め合い、目標に向かってベストを尽くしたという満足感、これからの人生の中で、大きな自信になっていくのだろうか、と見ていて感じた。

私は人権とは、私たちが幸せに生きる権利で、性別、年齢を問わず、誰にも平等にある権利だと思う。女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、ハンセン病、LGBTQ...とこの世の中にはまだまだたくさん差別があり、生きづらさを感じている人も少なくないと思う。最近私は私たち若者向けのドラマでも、LGBTQや女性差別を扱ったものが放送されているが、どれぐらいの人の心に響いているだろうか。私もドラマなどで、これはLGBTQのことを描いたものかな?と見ていて、最後はうまくいく結末にどこか他人事のように感じてしまっていた。自分がどうしたいか、何ができるかなんて考えてもみなかった。

しかし、あるCMの中の「たたくより、たたえ合おう」という言葉に感銘を受けた。コンビニのレジの前でもたたく女性と、後ろで待っている見た目の派手な男の人。女性はすまなそうにし、慌ててお金を探し、男の人は靴音を立てて待つシーン、誰もが「遅いことにあの男の人が腹を立てて怒鳴りつけるのでは?」「それを平謝りするのでは?」と、想像したのではないだろうか。しかし実際は真逆で、男の人は、「そんなに慌てることはない。自分のペースで、自分らしく堂々と生きるんだ」と言い、女性は見た目で判断したことを謝り、笑顔で相手を受け入れるというものだった。人の失敗をからかったり、自分より弱い立場だからと見下したり、力で押さえつけたり...。それでは到底自分らしく安心して生活なんてできるはずがない。「幸せに生きる」というのは、私の隣の席の人、遠くウクライナの人、また同じ権利だ。だから私は、ウクライナには行けないけれど、隣の人は「たたくより、たたえ合おう」を実践できるので、実践していきたいと思っている。

まだ十五歳。自分らしくというの、まだ十分には分かっていないが、自分を好きでいて、周りの人も好きでいて、私らしく堂々と生きていきたいと思う。

## 編集室から

「人として正しく行動することが大切だ!」と、中学生時代の作文に堂々と書いていました。大人になった今、「当時の自分が書いたことを、本当に実現できているのか」と、自分に問うことが幾度とあります。

同和問題をはじめとするさまざまな人権問題がいまだに残されています。すべての人が幸せに生きられる社会をつくるために大切なことは、学び続け正しく知り、差別を断ち切る力を付けることだと思います。そもそも学びがなければ、差別を受け入れることにつながりません。学習し、正しく知ることにより、自分の心を常にチェックすることができます。相手を真に大切に人権感覚を養えば、差別を断ち切ろうとする行動力が自然と身に付くはず。誰もが人権を尊重され、自分らしく力を発揮できる社会にするために、まずは「学び」から始めませんか?

(N.Y)

## 人権ポスター

三島小学校 三年 合田 鼓紋さんの作品



### 作者からのメッセージ

友達がいることのうれしさや心強さを伝えられるように、友達とうんていで楽しく遊ぶ様子を描きました。友達がいれば苦手なことにも挑戦できるし、好きなことをさらに楽しむこともできます。おたがいの良いところをたくさん見つけることで、すてきな友達がどんどんふえると思います。みんなが仲良く笑顔ですごせる世界になってほしいという思いをこのポスターに込めました。

### 今月の 主な記事

- 1ページ 人権ポスター
- 2~3ページ じぶんの好きを大事にする! じぶん、まる!
- 4ページ 人権作文・編集室から

人権教育協議会  
ホームページ  
QRコード



家族で回覧して下さい